YOUTH THINKTANK
取り組み紹介

2023.7.6

YOUTH THINKTANK

（一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN × 株式会社日本総合研究所）

YOUTH THINKTANK

取り組みの経緯

若年層の政治参加を高めることを目的に活動する団体 一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN（NYNJ）の代表である能條桃子氏と、井上岳一研究員とのつながりが発端。
「世代間だけでなく、世代内でも分断がある」という問題意識を持つ能條氏と対話する中で、**Z世代のことを共に学び、情報発信・政策提言につなげる活動をする**「YOUTH THINKTANK」の構想が生まれ、**Z世代とシンクタンクによる、世代を超えた共創**の取り組みが始まった。

YOUTH THINKTANK

NO YOUTH NO JAPAN

能條 桃子氏
一般社団法人
NO YOUTH NO JAPAN 代表理事
FIFTYS PROJECT代表

出所：能條桃子 ＼NO YOUTH NO JAPAN／Twitter

日本総合研究所

井上岳一（いのうえ たけかず）
創発戦略センター
エクスパート

青山温子（あおやま あつこ）
ビジネスリサーチチーム
リサーチ・アナリスト

富田奈央子（とみた なおこ）
ビジネスリサーチチーム
リサーチ・アナリスト

YOUTH THINKTANK

これまでの取り組み

2022年7月、NYNJと共に、**若者の政治参加を高めるため**の情報発信、政策提言を目的としたYOUTH THINKTANK（YTT）を設立。**U30世代自身がU30世代のことを調査した結果を基に政策提言**につなげている。また、NYNJメンバーの**自走に向けたスキル移転**のためのインターンシップも実施。

第１弾プロジェクト　U30現在地調査

- 2022年参院選の若者投票率向上を目指し、**NYNJのInstagramで情報発信**をするためのコンテンツを作成。（2022年5月～6月）。

第２弾プロジェクト　U30政治意識調査

- 若年層自身が若年層のことを理解することを目的に、**若年層の政治意識や投票行動に関する調査**を実施した（2022年6月～7月）。
- その成果をとりまとめ、調査結果を発信（7月に速報版、12月に詳細版を公表）。
- 7月にはトークショー（右参考）、12月の調査結果では、**政策提言**も行った。

第３弾プロジェクト　オンラインインターンシップ

- NYNJのメンバーをインターン生として受け入れ、若年層自らが情報発信をして政治参加の輪を広げていくために必要なスキル（調査・分析・報告書作成等）に関する**研修**を全8回行った（2023年3月）。

出所：NO YOUTH NO JAPAN Twitter、Instagram

YOUTH THINKTANK

NO YOUTH NO JAPAN × 日本総研

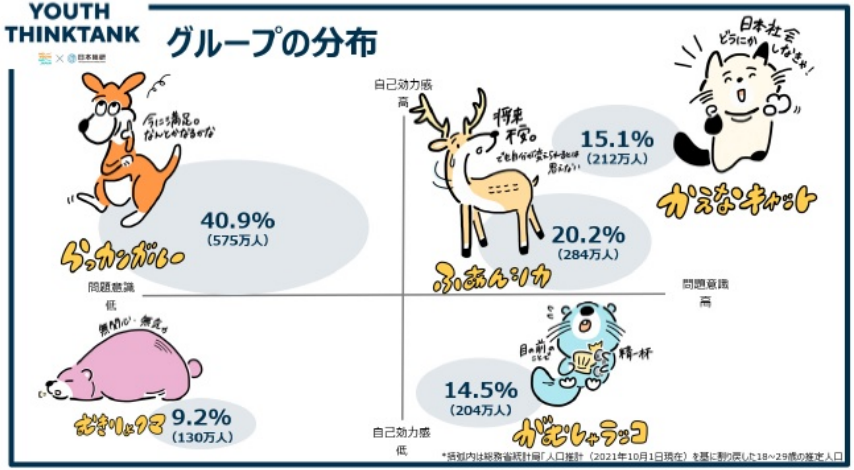
協働スタンスと効果

一貫して**「U30世代に学ぶ」というスタンス**で活動し、調査の設計、結果の分析、政策提言内容に関しては、NYNJメンバーと徹底議論した。この中で、**シンクタンクの言葉使いや説明ではU30世代には届かないことを痛感**。このため、U30世代のセグメンテーションの命名とキャラ設定をNYNJ側に任せるなど、**U30世代に届けるための工夫を試み、シンクタンクらしからぬ情報発信ができた**。

第１弾プロジェクト　U30現在地調査

出所：NO YOUTH NO JAPAN Instagram

第２弾プロジェクト　U30政治意識調査

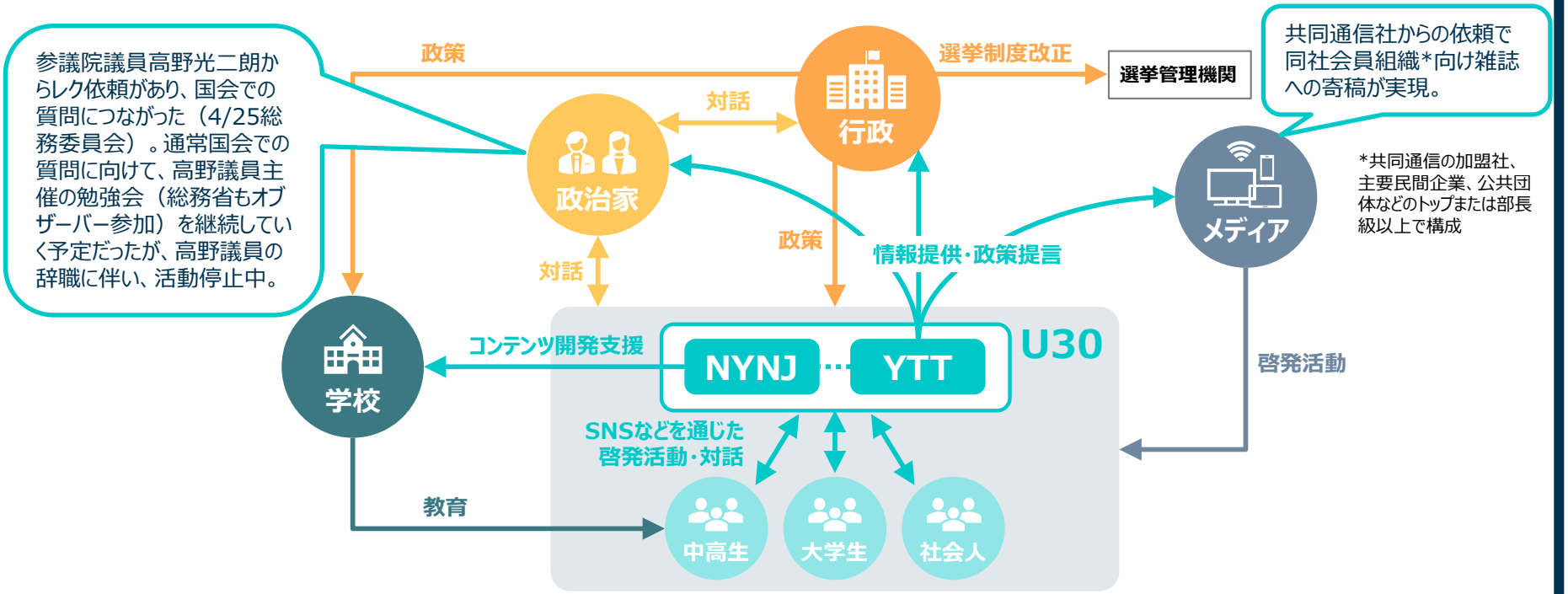


出所：U30世代の投票率向上のための施策案について（jri.co.jp）

YOUTH THINKTANK

取組の効果

提言した施策を推進するにあたって必要だと考えるステークホルダーのうち、**政治家やメディア、担当省庁**についての働きかけが一部はできた。**政策提言後のロビイング活動**については、今年度引き続いての課題。



YOUTH THINKTANK

今年度（2023年度）の活動計画

YTTの活動としては大きく二つ。

1. 調査の実施と情報発信

- 2022年度に提言した施策の一つである**「被選挙権年齢引き下げ」の機運を高める**ことを目的とした調査を実施し、情報発信する。
- 昨年度末にかけて実施したインターンシップを経て、今年度は調査計画を作成するところから、**NYNJ側が主導**する（JRIは指南役として振る舞う）。

2. YTTの進化への挑戦

- YTTは、若者の政治参加を主題とするNYNJのみならず、**他の団体にとっても有用なシンクタンクに進化**したい。
- このため、まずはNYNJと関係性のあるU30世代団体との対話を進め、YTTとして取り組むべきテーマや機能を探索する。